

## 特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会 第2回通常総会議事録

- 1. 招集年月日 平成 22 年 5 月 6 日
- 1. 開催場所 ランチョ エルパソ 2F (帯広市西 16 条南 6 番地 13-20)
- 1. 開催日時 平成 22 年 5 月 29 日 午前 11 時
- 1. 会員総数 27 名 (個人 15 名, 団体 12)
- 1. 出席者数 25 名
  - 内訳 議決権者出席 14 名
  - 非議決権者 12 名
  - 委任状出席 11 名

### 1. 議長ならびに議事録署名人の選任、書記の指名の経過

定刻に至り司会者 山本裕介氏が開会を宣言し、本日の第2回通常総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、定款の規定により議長には理事長が指名された。議長より挨拶の後、本日の議事経過を議事録にまとめるに当たり、初期および議事録署名人を指名したい旨を述べたところ、満場異議なく賛成があったので、議長は、次の者を書記および議事録署名人に指名した。

書 記：白井裕介(株) マルハニチロ畜産)

議事録署名人：光川敬士(JA 芽室町)

議事録署名人：杉本昌仁((地独)北海道立総合研究機構 畜産試験場)

ついで、議案の審議にはいった。

### 1. 議事の経過の概要及び議案別決議の結果

#### 第1号議案 2009年度 事業報告ならびに決算報告

議長からの要請により 2009年度事業報告について別紙総会資料の基づき、嶋村副理事長から説明がなされた。別紙資料は、2009年度レインボー・パル基金助成対象活動報告書、e-びーふ認証の審査資料「すすき牧場の概要」である。

質疑応答として、すすき牧場のe-びーふ認証が他県の牧場であり、北海道の畜産試験場が認定委員会になっていることは問題ないのか? との意見があり、理事長より、畜産試験場が認定委員会になっているのではなく、自給率計算などの協力を得て事務局が報告を作成し認定する体制で、試験場が前面に出るのではないので問題はなく、また、他県の認定については協議会は北海道に限定するという規定はしていない。との説明があり、質疑を経て議長より議案を昇任したい旨を諮ったところ異議なく可決承認された。

#### 2009年度収支決算報告

次いで、議長からの要請により別紙総会資料に基づき 2009年度収支決算の報告が花房

理事よりなされ、質疑応答として、決算書において、受取利息金額は収入の部ではないのか？との質問があり、理事長より、会計事務所の報告書の記載に従った表記法であり、法人の会計処理として正当なものであるが、総会向けの決算書における表記として違和感があれば、次年度よりどのように工夫できるかを会計事務所に確認事項として相談して対処したいとの説明があった。次いで議長からの要請で内藤監事から会計監査報告があり、議長より監査報告を承認したい旨を図ったところ異議無く可決された。別紙資料は、決算書・監査報告・貸借対照表および財産目録である。

## 第2号議案 2010年度事業計画および予算案

議長からの要請により2010年度事業計画について別紙総会資料の基づき、嶋村副理事長から提案と説明があった。事業計画は定款の事業項目ごとに分類されており、機関誌発行は前年度分との合併号として発行予定であることが理事長より補足説明された。質疑応答として、比較食味テストについて、分析、分析項目、生産技術などの基準をつくるべきという意見。飼料稲の生産や稲がオレイン酸含有に有効な実績もあるのでトウモロコシに限定せず飼料米についても検討するなどの計画を取り入れてはどうか等の意見が出され、事務局として意見に沿った計画などを検討したいとの回答があった。別紙資料は、北海道庁提出用の平成22年度事業計画書である。逐次審議した結果、原案通り異議無く可決された。

## 2010年度予算案

議長からの要請により別紙総会資料に基づき花房理事より2010年度予算案が提案され、理事長より、前年度よりも助成金の減少、競争的資金獲得の不成功などにより緊縮予算になっていること、シンポジウムは共同開催などの形で経費削減をしながら現行規模の内容を継続したい等の補足説明があった。別紙は、道庁提出用の平成22年度特定非営利活動にかかる収支予算書である。審議の結果、原案通り承認された。

## 第3号議案 役員交代

議長からの要請により嶋村義文副理事長から現役員の任期は2011年3月31日までであるが、日高智監事が公務多忙のため退任したいとの申し出があり、理事会で検討の結果これを了承し、残任期間の監事として奈良岡武任会員を選出したいとの提案説明があった。質疑応答として、役員に帯広畜産大学の会員がいない状況が出来るのは大学との繋がりの弱体化を招くので、帯広畜産大学からの新理事を追加できなかを検討すべきではないかとの意見が出され、事務局として口田教授他に要請を検討することとした。理事長から現役員の任期議長からこの交代を議場に諮ったところ満場一致をもって承認された。

理事長	左 久	重任
副理事長	嶋村 義文	重任

理事	花房 俊一	重任
理事	榛澤 保彦	重任
理事	山本 裕介	重任
監事	日高 智	退任
監事	奈良岡 武任	新任
監事	内藤 順介	重任

その他

- ・ 1. 2010 年度シンポジウム開催にあたり、「北海道肉牛研究会」との共催、配合飼料供給安定機構のエコフィード研修事業の一環としての共催を事務局が追求中であることの説明。テーマは検討中であり、口蹄疫発生など時事問題をピックアップ予定。
- ・ 2. 口蹄疫の情報に関する意見交換があった。
- ・ 3. 動議：故 宮下盛次氏の記念事業について  
当会の設立および北海アングス牛振興協議会の設立について大きな貢献があった故人の足跡を形に残して故人の前向きな意思を引き継ぐ意志を表す事業としてモニュメント等の設置を検討したいという意見が出され、理事会で検討することとした。

以上をもって第2回通常総会の議案全部の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し12時20分に散会した。

上記の議決を明確にするため、議長および議事録署名人において次に記名押印する。

平成 22 年 6 月 23 日

特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会 通常総会において

帯広市大空町 7 丁目 14 番地 2

議 長 左 久 印

河西郡芽室町西 4 条南 1 丁目 1 番地・JA 芽室町 内

議事録署名人 光川 敬士 印

上川郡新得町字新得西 5 線 39 番地 1

(地独)北海道総合研究機構 畜産試験場 内

議事録署名人 杉本 昌仁 印